

東京都アレルギー疾患医療拠点病院等指定申請書

【記入要領】

申請書別紙

- 1から9（専門病院については1から7）については貴院の基本的な事項について記入してください。また、10（専門病院については8）以降については、申請の対象となる診療科ごとの事項について記入してください。
- 診療科の用紙が不足する場合は、コピーして記入してください。
- 水色のセルについては、プルダウンリストより選択してください。

記載事項	内容
本申請に係る担当者（記載者）連絡先	
担当者・連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・本申請の担当者（記載者）について、「所属」及び「氏名（漢字・よみがな）」を記入します。 ・担当者の連絡先について、所属の「電話番号」と、「FAX 番号」もしくは「メールアドレス」を記入します。
1 医療機関の名称等	
医療機関の名称・所在地、開設者	・申請書の1枚目と同様の医療機関の名称と所在地と開設者を記入します。
管理者	・申請時における管理者を記入します。
2 応募資格	
①から⑦の応募資格の確認	申請時において、①から⑦の要件をすべて満たすことが必要です。①から⑦のそれぞれの項目において、「はい」か「いいえ」かのいずれかを選択してください。
3 同意事項	
①都民向け普及啓発への協力	・拠点病院又は専門病院に指定された場合、患者・家族向け講習会の開催や、東京都のアレルギーに関するホームページ（東京都アレルギー情報 navi.）の監修等、都民向け普及啓発に協力することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。
②医療連携に関する研修への協力	拠点・専門病院と地域の医療機関が円滑に連携するために必要な知見・手法に関する研修等を実施することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。
③都が開催する研修等への講師派遣や会場提供への協力	・拠点病院又は専門病院に指定された場合、都が開催する研修等に講師を派遣することや、貴院の講堂等を会場として提供することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。
④国や都が行う調査、研究等への協力	・拠点病院又は専門病院に指定された場合、国や都が行うアレルギー疾患の予防や治療、患者実態等に関する調査や研究等に協力することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。

⑤東京都アレルギー疾患医療拠点病院等連絡会への出席	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院又は専門病院に指定された場合、都が拠点病院と専門病院の連携関係の構築等を目的に開催する東京都アレルギー疾患医療拠点病院等連絡会に、貴院の医師等が出席することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。
⑥アレルギーに関する健康等情報ツールの利用及び患者・家族への利用勧奨への協力	アレルギーに関する健康等情報ツールの利用及び患者・家族への利用勧奨への協力を「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。
⑦都が行うアレルギー疾患医療にかかる情報提供への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院又は専門病院に指定された場合、新患者数や紹介患者数、免疫療法の実施件数など、病院の診療実績や、専門医の人数、講習会の開催情報等について、東京都アレルギー情報 navi.に掲載するため、都に情報提供することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。 掲載する情報は、事前に内容の確認をしていただきます。 なお、提供いただく情報には患者や貴院医師等の個人情報を含みません。
⑧医療従事者等に対する研修の実施 *専門病院指定申請書の項目にはありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院に指定された場合、都の委託を受け、医療従事者（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士）向けに診療ガイドラインに準拠した標準的治療の普及等のための研修等を実施することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。
⑨東京都アレルギー疾患対策検討委員会への出席 *専門病院指定申請書の項目にはありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院に指定された場合、都がアレルギー疾患対策を検討するために開催する東京都アレルギー疾患対策検討委員会に、貴院の医師等が出席することに「同意する」か「同意しない」かのいずれかを選択してください。 なお、年2回ほど開催する検討委員会に、拠点病院のうち代表に選ばれた病院に委員として出席いただく予定です。
4 日本アレルギー学会の「アレルギー専門医教育研修施設」の認定状況	
認定を受けている診療科名	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人日本アレルギー学会のアレルギー専門医教育研修施設（以下「教育研修施設」という。）の認定を受けているかどうかについて、教育研修施設の認定を受けている診療科別に記入します。 ・一つの診療領域において複数の診療科で認定を受けている場合は、行を分けて全ての診療科について記入します。
認定有効期間	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄で診療科名を記入した診療科について、申請時点における認定の有効期間の日付を選択してください。
5 専門病院の指定の希望 *専門病院指定申請書の項目にはありません。	
専門病院への申請の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院に指定されない場合に、上記3で記入した教育研修施設の認定を受けている診療科について、専門病院の指定の「希望あり」か「なし」かのいずれかを選択してください。 ・この欄を「希望あり」にすることで、専門病院指定申請書を別途提出する必要はなくなります。
6 人員体制 *専門病院指定申請書の項目番号は5	
①アレルギー疾患の患者指導が可能な看護師、薬剤師、管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時点における、アレルギー疾患の患者指導が可能な医療従事者数について雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。 ・常勤とはその者が勤務する医療機関の就労規則等で定められた勤務時間の全てを勤務する者をいい、非常勤とはそれ以外の者をいいます。 ・非常勤職員の常勤換算は不要です。

	<ul style="list-style-type: none"> 患者指導が可能な診療科について○を選択してください。 同一職員が、複数の診療科の患者指導が可能な場合は、該当する複数の診療科に○をつけて構いません。
②小児アレルギーエデュケーター（PAE）	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患の患者指導が可能な医療従事者のうち、一般社団法人小児臨床アレルギー学会認定「小児アレルギーエデュケーター」の有資格者が在籍している場合は、その人数を雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。 患者指導が可能な診療科について○を選択してください。 同一職員が、複数の診療科の患者指導が可能な場合は、該当する複数の診療科に○をつけて構いません。
③アレルギー疾患療養指導士（CAI）	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患の患者指導が可能な医療従事者のうち、一般社団法人日本アレルギー疾患療養指導士認定機構認定「アレルギー疾患療養指導士（CAI）」の有資格者が在籍している場合は、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。 患者指導が可能な診療科について○を選択してください。 同一職員が、複数の診療科の患者指導が可能な場合は、該当する複数の診療科に○をつけて構いません。
④複数職種が連携して行う患者指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師、薬剤師、管理栄養士が必要に応じ連携して、患者指導が可能な体制が「可」か「不可」のいずれかを選択してください。 看護師、薬剤師、管理栄養士が必要に応じ連携し、患者指導が可能な診療科について○を選択してください。必ずしも患者指導の都度、全ての職種が揃う必要はありません。 <p><例>舌下免疫療法中の花粉症患者に管理栄養士の関わりが必要ない場合、看護師、薬剤師による連携した患者指導があれば「連携可」を選択。</p>
7 人材育成計画 *専門病院指定申請書の項目にはありません。	
人材育成計画	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患医療に関する知識・技能の維持・向上のため、貴院の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等の人材育成計画について、下記の事項を記載した計画書を作成し、申請書に添付します。 令和5年4月から、概ね5年から10年間程度の計画について記載します。 A4サイズを使用し、概要1ページ、スケジュール表1ページ、本文5ページ以内で記載します。 概要、スケジュール、本文には、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士のそれぞれについて項を設けて記入します。 スケジュール表は、5年間の取組を一覧できるもので、5年を超える期間が記載されていても構いません。 概要（まとめ）のペーパーを1枚作成します。 一般的なフォントを使用し、フォントサイズは10.5ポイント以上で記入します。 計画書の全てのページの上部右端に、医療機関名称を記載します。
8 医療従事者等の人材育成への協力 *専門病院指定申請書の項目番号は6 近隣の医療機関や保健福祉関係者、学校、社会福祉施設等の職員に対するアレルギー疾患医療の向上に向けた研修等に取り組んでいる場合に記載します。	
主なテーマ	<ul style="list-style-type: none"> 貴院が主催する（他院や学会等との共催を含んで構いません。）研修会等について、そのテーマを記入します。 対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間です。
回数	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研修会等について、同様のテーマで複数回開催している場合は、その回数を記入します。

参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した研修会等について、参加者（医師、医師以外の医療従事者、保健福祉関係者、学校の教職員、社会福祉施設職員、その他）に○を選択します。 ・開催の主な目的である職種に限らず、実際に参加した全ての職種に○を付けます。
延べ参加者数（概数可）	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した研修会等について、その参加者数の延べ人数を、貴院職員と外部参加者に分けて記入します。 ・複数回開催している場合は、各回の単純合計で記入します。 ・正確な参加者数の記録がない場合は、10人単位の概数で記入します。
<p>9 患者・家族や地域住民向けの情報発信、普及啓発 *専門病院指定申請書の項目番号は7 患者・家族や地域住民に対するアレルギー疾患の理解促進に向けた講習会に取り組んでいる場合に記載します。</p>	
主なテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・貴院が主催する（他院や学会との共催を含みません。）研修会等について、そのテーマを記入します。 ・患者・家族のみを対象としたものでも、広く地域住民に参加を募ったものでも、どちらでも構いません。 ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間です。
回数	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した研修会等について、同様のテーマで複数回開催している場合は、その回数を記入します。
延べ参加者数（概数可）	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した講習会等について、その参加者数の延べ人数を、貴院職員と外部参加者に分けて記入します。 ・複数回開催している場合は、各回の単純合計で記入します。 ・正確な参加者数の記録がない場合は、10人単位の概数で記入します。

内科系

- 教育研修施設の認定を受けており、拠点病院又は専門病院として指定を希望する診療科について記入してください。作成は診療科ごとに行い、内科系で一つにまとめる必要はありません。
- 用紙が不足する場合は、コピーして記入してください。
- 水色のセルについては、プルダウンリストより選択してください。

記載事項	内容
10(1) 診療実績 *専門病院指定申請書の項目番号は8(1) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されているアレルギー疾患の診療の可否について、いずれかを選択してください。 ・成人とは15歳以上を指します。
実績の有無	・記載されているアレルギー疾患の診療における実績の有無について、いずれかを選択してください。
新患者数（総数）	・アレルギー疾患の新患者数（総数）について記入します。 ・新患者とは初診料算定患者を指します。 ・成人に限定して抽出することが難しい場合は、全件数を記入し、「小児を含む」旨を余白に追記します。
紹介患者数（再掲）	・左欄の新患者数（総数）のうちの紹介患者数について記入します。 ・成人に限定して抽出することが難しい場合は、全件数を記入し、「小児を含む」旨を余白に追記します。
10(2) アレルギー疾患の診断・治療の状況 *専門病院指定申請書の項目番号は8(2) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されている検査・治療において、対応の可否について、いずれかを選択してください。
実施の有無	・記載されている検査・治療において、「実施」又は「未実施」のいずれかを選択してください。
実施件数	・記載されている検査・治療において、実施件数を記入します。 ・成人に限定して抽出することが難しい場合は、全件数を記入し、「小児を含む」旨を余白に追記します。 ・「気道過敏性試験」は、気道過敏性試験のために実施した呼吸機能検査の合計件数を記入します。 ・「舌下免疫療法」及び「皮下免疫療法」の件数は、スギ花粉にかかる処方件数とダニアレルゲンにかかる処方件数との合計件数を記入します。 ・ぜん息について、生物学的製剤を用いた治療の全件数を記入してください。 ・じんましんについて、生物学的製剤を用いた治療の全件数を記入してください。
10(3) 人員体制 *専門病院指定申請書の項目番号は8(3) ・非常勤については、実人数と常勤換算した人数を記入します。 ・常勤とはその者が勤務する医療機関の就労規則等で定められた勤務時間の全てを勤務する者をいい、非常勤とはそれ以外の者をいいます。	

①日本アレルギー学会認定指導医（内科系）	<ul style="list-style-type: none"> 申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医の人数を、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。
①日本アレルギー学会認定専門医（内科系）	<ul style="list-style-type: none"> 申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医を除く専門医の人数を、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。
②外来担当医表	<ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページ等に掲載の貴科の外来担当医表（何月何日現在のものかを記載してください。）に、①日本アレルギー学会認定の指導医又は専門医、②常勤又は非常勤の別が分かるよう、氏名と記号の両方を記入します。記号の記入位置は、上下左右は問いません。 ①日本アレルギー学会認定の指導医・専門医について： 指導医＝「★」、専門医＝「☆」 ②常勤・非常勤について： 常勤「●」、非常勤医「○」
10（4） アレルギー疾患医療に関する調査、研究等への協力 *専門病院指定申請書の項目番号は8（4）	
テーマ、文献番号	<ul style="list-style-type: none"> 貴科の医師等が、貴科に所属している間に携わった厚生労働科学研究について、テーマ、文献番号を記入します。 対象期間は、平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間とします。この期間の一部でも研究機関が重なっていれば記入します。 研究代表者の研究が4つを超える場合は、別紙に記載し、添付しても構いません。 分担者のみの研究は、欄の範囲で記載してください。
研究期間	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研究について、開始年度と終了（予定）年度を選択します。
研究代表者／研究分担者	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者又は研究分担者の該当するものを選択します。
研究代表者氏名	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者氏名を記入します。

小児科系

- 教育研修施設の認定を受けており、拠点病院又は専門病院として指定を希望する診療科について記入してください。作成は診療科ごとに行い、小児科系で一つにまとめる必要はありません。
- 用紙が不足する場合は、コピーして記入してください。
- 水色のセルについては、プルダウンリストより選択してください。

記載事項	内容
11 (1) 診療実績 *専門病院指定申請書の項目番号は9 (1) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	<ul style="list-style-type: none"> ・記載されているアレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。 ・小児とは15歳未満を指します。
実績の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・記載されているアレルギー疾患の診療における実績の有無について、いずれかを選択してください。
新患者数（総数）	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患の新患者数（総数）について記入します。 ・新患者とは初診料算定患者を指します。 ・小児に限定して抽出することが難しい場合は、全件数を記入し、「成人を含む」旨を余白に追記します。
紹介患者数（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄の新患者数（総数）のうちの紹介患者数について記入します。 ・小児に限定して抽出することが難しい場合は、全件数を記入し、「成人を含む」旨を余白に追記します。
11 (2) アレルギー疾患の診断・治療の状況 *専門病院指定申請書の項目番号は9 (2) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	<ul style="list-style-type: none"> ・記載されている検査・治療において、対応の可否について、いずれかを選択してください。
実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・記載されている検査・治療において、「実施」又は「未実施」のいずれかを選択してください。
実施件数	<ul style="list-style-type: none"> ・記載されている検査・治療において、実施件数を記入します。 ・小児に限定して抽出することが難しい場合は、全件数を記入し、「成人を含む」旨を余白に追記します。 ・食物経口負荷試験の件数は、運動誘発試験を含むものと含まないものの合計件数を記入します。 ・「呼吸機能検査」の実施件数は、「呼吸機能検査等判断料」の算定件数を記入します。気管支ぜん息の診断等のために行うものに限定して抽出する必要はありません。 ・「気道可逆性試験」は、気道可逆性試験のために実施した呼吸機能検査の合計件数を記入します。 ・「気道過敏性試験」は、気道過敏性試験のために実施した呼吸機能検査の合計件数を記入します。 ・「舌下免疫療法」及び「皮下免疫療法」の件数は、スギ花粉にかかる処方件

	<p>数とダニアレルゲンにかかる処方件数との合計件数を記入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ぜん息について、生物学的製剤を用いた治療の全件数を記入してください。
<p>11 (3) 人員体制 *専門病院指定申請書の項目番号は9 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 非常勤については、実人数と常勤換算した人数を記入します。 • 常勤とはその者が勤務する医療機関の就労規則等で定められた勤務時間の全てを勤務する者をいい、非常勤とはそれ以外の者をいいます。 	
①日本アレルギー学会認定指導医 (小児科系)	<ul style="list-style-type: none"> • 申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医の人数を、雇用形態別 (常勤・非常勤) にそれぞれ記入します。
①日本アレルギー学会認定専門医 (小児科系)	<ul style="list-style-type: none"> • 申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた<u>指導医を除く専門医の人数</u>を、雇用形態別 (常勤・非常勤) にそれぞれ記入します。
②外来担当医表	<ul style="list-style-type: none"> • 病院ホームページ等に掲載の貴科の外来担当医表 (何月何日現在のものかを記載してください。) に、①日本アレルギー学会認定の指導医又は専門医、②常勤又は非常勤の別が分かるよう、氏名と記号の両方を記入します。記号の記入位置は、上下左右は問いません。 ①日本アレルギー学会認定の指導医・専門医について： 指導医「★」、専門医「☆」 ②常勤・非常勤について： 常勤「●」、非常勤医「○」
11 (4) アレルギー疾患医療に関する調査、研究等への協力 *専門病院指定申請書の項目番号は9 (4)	
テーマ、文献番号	<ul style="list-style-type: none"> • 貴科の医師等が、貴科に所属している間に携わった厚生労働科学研究について、テーマ、文献番号を記入します。 • 対象期間は、平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間とします。この期間の一部でも研究機関が重なっていれば記入します。 • 研究代表者の研究が4つを超える場合は、別紙に記載し、添付しても構いません。 • 分担者のみの研究は、欄の範囲で記載してください。
研究期間	<ul style="list-style-type: none"> • 左欄でテーマを記入した研究について、開始年度と終了 (予定) 年度を選択します。
研究代表者/研究分担者	<ul style="list-style-type: none"> • 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者又は研究分担者の該当するものを選択します。
研究代表者氏名	<ul style="list-style-type: none"> • 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者氏名を記入します。

皮膚科系

- 教育研修施設の認定を受けており、拠点病院又は専門病院として指定を希望する診療科について記入してください。
- 用紙が不足する場合は、コピーして記入してください。
- 水色のセルについては、プルダウンリストより選択してください。

記載事項	内容
12(1) 診療実績 *専門病院指定申請書の項目番号は10(1) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されているアレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。
実績の有無	・記載されているアレルギー疾患の診療における実績の有無について、いずれかを選択してください。
新患者数(総数)	・アレルギー疾患の新患者数(総数)について記入します。 ・新患者とは初診料算定患者を指します。 ・「難治性じんましん」の件数を抽出することが難しい場合は、「じんましん」の全件数を記入し、「じんましん全件数」である旨を余白に追記します。
紹介患者数(再掲)	・左欄の新患者数(総数)のうちの紹介患者数について記入します。 ・「難治性じんましん」の件数を抽出することが難しい場合は、「じんましん」の全件数を記入し、「じんましん全件数」である旨を余白に追記します。
12(2) アレルギー疾患の診断・治療の状況 *専門病院指定申請書の項目番号は10(2) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されている検査・治療において、アレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。
実施の有無	・記載されている検査・治療において、「実施」又は「未実施」のいずれかを選択してください。
実施件数	・記載されている検査・治療において、アレルギー疾患の診療における実施件数を記入します。 ・「重症のアトピー性皮膚炎を主たる疾患とする入院治療」の実施件数は、「退院」件数を記入します。
12(3) 人員体制 *専門病院指定申請書の項目番号は10(3) ・非常勤については、実人数と常勤換算した人数を記入します。 ・常勤とはその者が勤務する医療機関の就労規則等で定められた勤務時間の全てを勤務する者をいい、非常勤とはそれ以外の者をいいます。	
①日本アレルギー学会認定指導医	・申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医の人数を、雇用形態別(常勤・非常勤)にそれぞれ記入します。 ※指導医が不在の場合は、院外の意見照会可能な指導医の所属・氏名をご記入ください。
①日本アレルギー学会認定専門医	・申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医を除く専門医の人数を、雇用形態別(常勤・非常勤)にそれぞれ記入します。

②外来担当医表	<ul style="list-style-type: none"> ・病院ホームページ等に掲載の貴科の外来担当医表（何月何日現在のものかを記載してください。）に、①日本アレルギー学会認定の指導医又は専門医、②常勤又は非常勤の別が分かるよう、氏名と記号の両方を記入します。記号の記入位置は、上下左右は問いません。 ①日本アレルギー学会認定の指導医・専門医について： 指導医「★」、専門医「☆」 ②常勤・非常勤について： 常勤「●」、非常勤医「○」
12(4) アレルギー疾患医療に関する調査、研究等への協力 *専門病院指定申請書の項目番号は10(4)	
テーマ、文献番号	<ul style="list-style-type: none"> ・貴科の医師等が、貴科に所属している間に携わった厚生労働科学研究について、テーマ、文献番号を記入します。 ・対象期間は、平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間とします。この期間の一部でも研究機関が重なっていれば記入します。 ・研究代表者の研究が4つを超える場合は、別紙に記載し、添付しても構いません。 ・分担者のみの研究は、欄の範囲で記載してください。
研究期間	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した研究について、開始年度と終了（予定）年度を選択します。
研究代表者／研究分担者	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者又は研究分担者の該当するものを選択します。
研究代表者氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者氏名を記入します。

耳鼻咽喉科系

- 教育研修施設の認定を受けており、拠点病院又は専門病院として指定を希望する診療科について記入してください。
- 用紙が不足する場合は、コピーして記入してください。
- 水色のセルについては、プルダウンリストより選択してください。

記載事項	内容
13 (1) 診療実績 *専門病院指定申請書の項目番号は 11 (1) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されているアレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。
実績の有無	・記載されているアレルギー疾患の診療における実績の有無について、いずれかを選択してください。
新患患者数（総数）	・アレルギー疾患の新患患者数（総数）について記入します。 ・新患者とは初診料算定患者を指します。 ・「通年性アレルギー性鼻炎」と「季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）」の件数を分けて抽出することが難しい場合は、「通年性アレルギー性鼻炎」の欄に全件数を記入し、「アレルギー性鼻炎全件数」である旨を余白に追記します。
紹介患者数（再掲）	・左欄の新患患者数（総数）のうちの紹介患者数について記入します。 ・「通年性アレルギー性鼻炎」と「季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）」の件数を分けて抽出することが難しい場合は、「通年性アレルギー性鼻炎」の欄に全件数を記入し、「アレルギー性鼻炎全件数」である旨を余白に追記します。
13 (2) アレルギー疾患の診断・治療の状況 *専門病院指定申請書の項目番号は 11 (2) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されている検査・治療において、アレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。
実施の有無	・記載されている検査・治療において、「実施」又は「未実施」のいずれかを選択してください。実施件数が記入できない場合であっても、実施している場合は「有」を選択してください。
実施件数	・記載されている検査・治療において、実施件数を記入します。 ・「舌下免疫療法」及び「皮下免疫療法」の件数は、スギ花粉にかかる処方件数とダニアレルゲンにかかる処方件数との合計件数を記入します。
13 (3) 人員体制 *専門病院指定申請書の項目番号は 11 (3) ・非常勤については、実人数と常勤換算した人数を記入します。 ・常勤とはその者が勤務する医療機関の就労規則等で定められた勤務時間の全てを勤務する者をいい、非常勤とはそれ以外の者をいいます。	
①日本アレルギー学会認定指導医	・申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医の人数を、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。 ※指導医が不在の場合は、院外の意見照会可能な指導医の所属・氏名をご記入ください。

①日本アレルギー学会認定専門医	<ul style="list-style-type: none"> 申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医を除く専門医の人数を、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。
②外来担当医表	<ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページ等に掲載の貴科の外来担当医表（何月何日現在のものかを記載してください。）に、①日本アレルギー学会認定の指導医又は専門医、②常勤又は非常勤の別が分かるよう、氏名と記号の両方を記入します。記号の記入位置は、上下左右は問いません。 ①日本アレルギー学会認定の指導医・専門医について： 指導医「★」、専門医「☆」 ②常勤・非常勤について： 常勤「●」、非常勤医「○」
13（4） アレルギー疾患医療に関する調査、研究等への協力 *専門病院指定申請書の項目番号は11（4）	
テーマ、文献番号	<ul style="list-style-type: none"> 貴科の医師等が、貴科に所属している間に携わった厚生労働科学研究について、テーマ、文献番号を記入します。 対象期間は、平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間とします。この期間の一部でも研究機関が重なっていれば記入します。 研究代表者の研究が4つを超える場合は、別紙に記載し、添付しても構いません。 分担者のみの研究は、欄の範囲で記載してください。
研究期間	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研究について、開始年度と終了（予定）年度を選択します。
研究代表者／研究分担者	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者又は研究分担者の該当するものを選択します。
研究代表者氏名	<ul style="list-style-type: none"> 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者氏名を記入します。

眼科系

- 教育研修施設の認定を受けており、拠点病院又は専門病院として指定を希望する診療科について記入してください。
- 用紙が不足する場合は、コピーして記入してください。
- 水色のセルについては、プルダウンリストより選択してください。

記載事項	内容
14 (1) 診療実績 *専門病院指定申請書の項目番号は 12 (1) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されているアレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。
実績の有無	・記載されているアレルギー疾患の診療における実績の有無について、いずれかを選択してください。患者数の実数を記入できない場合であっても、実績がある場合は「有」を選択してください。
新患患者数（総数）	・アレルギー疾患の新患患者数（総数）について記入します。 ・新患患者とは初診料算定患者を指します。
紹介患者数（再掲）	・左欄の新患患者数（総数）のうちの紹介患者数について記入します。
14 (2) アレルギー疾患の診断・治療の状況 *専門病院指定申請書の項目番号は 12 (2) ・対象期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日の1年間です。	
診療の可否	・記載されている検査・治療において、アレルギー疾患の診療における対応の可否について、いずれかを選択してください。
実施の有無	・記載されている検査・治療において、「実施」又は「未実施」のいずれかを選択してください。
実施件数	・記載されている検査・治療において、実施件数を記入します。
14 (3) 人員体制 *専門病院指定申請書の項目番号は 12 (3) ・非常勤については、実人数と常勤換算した人数を記入します。 ・常勤とはその者が勤務する医療機関の就労規則等で定められた勤務時間の全てを勤務する者をいい、非常勤とはそれ以外の者をいいます。	
①日本アレルギー学会認定指導医	・申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医の人数を、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。 ※指導医が不在の場合は、院外の意見照会可能な指導医の所属・氏名をご記入ください。
①日本アレルギー学会認定専門医	・申請時点の各診療領域における、日本アレルギー学会の認定を受けた指導医を除く専門医の人数を、雇用形態別（常勤・非常勤）にそれぞれ記入します。
②外来担当医表	・病院ホームページ等に掲載の貴科の外来担当医表（何月何日現在のものかを記載してください。）に、①日本アレルギー学会認定の指導医又は専門医、②常勤又は非常勤の別が分かるよう、氏名と記号の両方を記入します。記号の記入位置は、上下左右は問いません。 ①日本アレルギー学会認定の指導医・専門医について： 指導医「★」、専門医「☆」 ②常勤・非常勤について： 常勤「●」、非常勤医「○」

14 (4) アレルギー疾患医療に関する調査、研究等への協力 *専門病院指定申請書の項目番号は12(4)	
テーマ、文献番号	<ul style="list-style-type: none"> • 貴科の医師等が、貴科に所属している間に携わった厚生労働科学研究について、テーマ、文献番号を記入します。 • 対象期間は、平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間とします。この期間の一部でも研究機関が重なっていれば記入します。 • 研究代表者の研究が4つを超える場合は、別紙に記載し、添付しても構いません。 • 分担者のみの研究は、欄の範囲で記載してください。
研究期間	<ul style="list-style-type: none"> • 左欄でテーマを記入した研究について、開始年度と終了（予定）年度を選択します。
研究代表者／研究分担者	<ul style="list-style-type: none"> • 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者又は研究分担者の該当するものを選択します。
研究代表者氏名	<ul style="list-style-type: none"> • 左欄でテーマを記入した研究について、研究代表者氏名を記入します。